

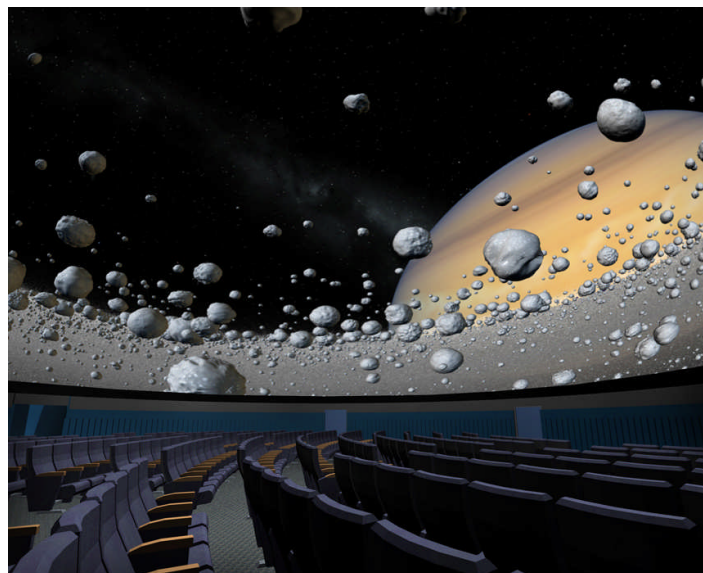
新プラネタリウム オープン

しばらくお休みしていた科学博物館のプラネタリウムが4月24日（金）に全く新しい方式となってオープンします。

今までのプラネタリウムは、部屋の真ん中に大きな球体があり、それがドームいっぱいとうえいに星空を投影していました。さらにその前方には太陽や月、惑星わくせいを投影する装置そうちがありました。また、ドームのふちに沿ってビデオプロジェクターやスライド投影機とうえいきが並んでいました。このため、映像が投影機とうえいきにかくされて見づらい席がありました。

新しいプラネタリウムでは、ドームの周りに置かれた2台の大型のビデオプロジェクターだけですべてのコンピュータ映像とうえいを投影します。

星空は、12等星までの星の位置や時間や見る場所を指定して、再現さいげんできます。月や惑星わくせい、彗星すいせいなどの太陽系の星たちの動きなども正確に再現することができます。



プラネタリウム投影のイメージ

さらに、ドーム全体が映画のスクリーンになったように、動く映像とうえいを投影することができます。これによって、地球から宇宙空間へ飛び出す様子や、土星のリングを通り過ぎるシーンなどが、目の前に広がり、あたかも自分がその場所にいるかのような迫力で見るすることができます。これは“見る”というよりは“体で感じる”と言っても良いくらいです。

また、1日に2ないし3種類の違う内容の番組を投影とうえいしますので（5月7日以降）、入館されるときに選ぶことができます。

新しいプラネタリウムをぜひ見に来てください。

（2009年3月 布村克志）